

Vol. 147号

2010(平成22)年
1月1日発行

Colony Tokyo コロニーとうきょう



社会福祉法人 東京コロニー
〒165-0023
東京都中野区江原町 2-6-7
TEL 03-3952-6166
FAX 03-3952-6664
<http://www.tocolo.or.jp/>
(法人本部 事務局)



アートビリティギャラリー 23 作者 古谷 邦博さん 『初恋通り』(詳しくは15頁をご覧ください。)

時評
とびくす
法人の主な動きから
2009年度 上半期総括事業報告書

法人本部・コロニー中野・アートビリティ・トーコロ生活支援センター・IT事業本部・デジタルメディアセンター・トーコロ情報処理センター機能開発室(〒165-0023 中野区江原町2-6-7) 中野区精神障害者社会復帰センター(〒164-0001 中野区中野5-68-7) トーコロ情報処理センター事業部(〒162-0051 新宿区西早稲田2-2-8)・葛飾福祉工場(〒125-0042 葛飾区金町2-8-20)・立石工場(〒124-0012 葛飾区立石8-50-1)・コロニー東村山(〒189-0001 東村山市秋津町2-22-9)・大田福祉工場(〒143-0015 大田区大森西2-22-26)・浜松町工場(〒105-0022 港区海岸1-4-17)・トーコロ青葉ワークセンター・トーコロ青葉第三ワークセンター(〒189-0002 東村山市青葉町2-39-10)・国分寺戸倉寮(〒185-0003 国分寺市戸倉1-21-9)・東久留米第一氷川台寮・東久留米第二氷川台寮(〒203-0004 東久留米市氷川台2-31-22) 東久留米第三氷川台寮(東久留米市神宝町2-14-26)・えはらハイツⅠ、Ⅱ・中野江原短期入所(〒165-0023 中野区江原町3-23-2)

時 評

「障害者自立支援法廃止表明と法人運営」

理事長 勝又 和夫
かつまた かずお

1. はじめに

2009年度の上半期の事業結果は別ページにて詳細に報告しますが、リーマンショック以来の極めて厳しい事業環境であったにもかかわらず多くのユーザーの皆様や関係官公庁、所属する皆様のご理解とご協力によりほぼ前年並みの結果を残すことができました。このことについて改めて感謝申し上げます。存じます。特に大きな動きとしては葛飾工場の倉庫問題の解決や大田工場の分工場の仮移転問題などでは関係者の理解なくしては為し遂げることができなかったものとしてお礼申し上げます。

新年号ですので新年のあいさつを申し上げるべきだとは思いますが、紙面を通じては失礼と思ひ、むしろ当法人の所属するひとりひとりが直接ごあいさつ申

し上げさせていただくことにさせていただきます、私からは2010年に対する不安と期待を記させていただきますこととしました。不安の一番大きな要素はデフレスパイラルが続く中での昨年11月末に起きたドバイショックの影響です。ドバイショックでEUを中心にも多くの国がさらなる金融不安を抱えることになり、世界一の債権国である日本の円が買われることになり、デフレに加えての円高により、わが国経済への影響が今後どのようなようになって行くかということであります。また、期待については私が理事長の職に就いて9年目を迎えようとしています、この年度末までに10名近い新人従業員を迎えることです。

事業的に厳しい中で最低限の人員補充しかできずにきていたが、やっとで守りから攻めに転ずることができるようになったことです。「ピンチはチャンス」な

のだと何度となく自分自身に言い聞かせてきていましたが、新人を迎えることにより人材育成や職場の活気にも繋がって欲しいと心より願っております。

2. 障害福祉分野の 新たな変化

昨年の総選挙によって障害者自立支援法の廃止をマニフェストに掲げる3党が大勝し、9月19日記者会見において長妻厚労大臣から廃止発言があり10月30日の日比谷野外音楽堂での1万人の大集会にも来場され自らの言葉で1万人の人たちに廃止を明言されました。当法人の事業は委託事業等を除く法人立の主な事業は国の方針に添って新体系に移行するとともに新会計基準の導入や地域生活の場の充実のための事業にも積極的に取り組んできましたが、法人の事業と障害のあるひとりひとりの思い

は常に同じ目線にあると思っており、法の廃止が実現するなら直ちに現行法の下でも利用者負担や実費負担の見直しや月額払方式と事務の簡素化を速やかに行って欲しいと思っています。

こうした可及的速やかな対策を講じた上で国連の障害者権利条約が求める水準での新法の制定を望むとともに、国としてあまりにも予算配分の少ない障害者分野への予算の確保を願わずにはいられません。GDP比でアメリカの2分の1、イギリスの3分の1、北欧の6分の1という現状について与野党問わず目を向け、障害のある人たちの安心を何としてでも実現して欲しいと願うものであります。

当法人は、真摯に障害者福祉に取り組む、制度においても率先して実証し、その中から説得力を持った改善提案を今後もして行きたいと思っています。

3. 新しい年の中で

社会的な環境がどの様になるうとも庶民の暮らしは連続しているもので、当法人にとっても政権交代があったとしても戦後間もない時期に結核の回復者が病院の医師の支えによって互いに助け合い雨露をしのぎ食べるための事業を始めたことは当法人の継承すべき文化・心の拠り所であり、このことが基本となつて「当事者主体」や「企業性」「民間性」が研かれ59年目を迎えるこの年においても守り通すべき価値として法人内に伝えて行かなければならないと思っています。私は当法人の5代目の理事長ですが、世代交代は世の常であり、その時のために「法人があつてひとりひとりが居るのではなく皆さん自らが居て法人がある」といった気概をもって新しい年の中でひとりひとりの幸

せを築いて欲しいと願います。

4. 法人としての

社会的意義

当法人の歴史は「事業と運動」の両輪によって今日を迎えています。初代理事長の野村実先生はその著作の中で東京コロニーの理事長として「目の前にいる障害のある人が望むなら敢えて法律を超えてでもその人の力になる」と記しています。こうした気概の中から社会的には障害者だから無理だろうと言われたいくつかのことに挑戦し、実践し、制度化も成し得てきています。当法人は現在国の指定・認可として「ハローワーク業務」「在宅就業支援団体」「障害者製作品あつせん販売指定法人」の他、都からは「社会福祉法人」「福祉工場二工場の受託」「東京都IT地域支援センター事業受託」、区市からは「精神障害者社会復帰セ

ンター事業受託」「日中一時支援事業受託」「障害者就労支援室事業受託」などを行うとともに各種の障害福祉サービスを行うことにより、ひとりでも多くの障害のある人のお役に立てるよう努力して行く所存であります。

社会や制度がどのように変化しても柔軟にしなやかにこの法人の歴史と社会的使命を果たし続ける覚悟でありますので、本年も皆様のご指導、ご支援を切に願って年頭の言葉とさせていただきます。



トピックス

T O P I C S

コロニー中野

産直野菜の販売をはじめました

ホットドッグの店「ころ・ころ」では7月より産地直送朝獲れ新鮮野菜の販売をはじめました。

東村山工場に在籍されている職員の方のご実家で作られている野菜を仕入れ、「ころころ」にお越しくださるお客様に手頃な価格で販売しています。

週に2回、月曜日と木曜日の朝に小俣さんの畑で獲れた新鮮な野菜を東村山工場と中野工場の連絡便で運び、値付けをして11時より販売をスタートします。

野菜の種類は季節や日によって異なりますが、どれも皆新鮮なものばかりです。

夏の時期はきゅうり、トマト、なす、枝豆、インゲン、とうもろこし等が入荷しました。特にきゅうり、トマト、なすは販売開始と同時に売り切れるほどの人気で、お客様によっては一人でたくさん種類を買って行かれる方もいらっしゃいます。

今の時期はさつまいも、大根、さといも、にんじん、キャベツ等が



シャキシャキとした歯ごたえがあるキャベツです。

お客様の評判もたいへん良く、「どれもみんな大きくて新鮮でおいしい」という声をたくさんいただいています。また、お客様の中にはこの野菜を目当てにお越しくださる方も

入荷しています。大根は葉つきの立派なものでも甘い大根です。キャベツも大きくて

何人かいらっしゃいます。

「ころころ」ではこのように少しでもお客様に喜んでいただける取り組みをこれからも考えていきたいと思っています。

飲食事業担当 堀越 和夫

スマイル

宿泊訓練に行ってきました

まだ残暑厳しい9月10日、11日に宿泊訓練に行ってきました。スマイル社会復帰センターでは、毎年1泊2日の宿泊訓練を行っています。昨年の勝浦に続き、今年はアンケートで希望の多かった館山に決まり、18名が参加しました。行き先決めから宿泊先や切符の手配、下見など全て利用者を中心とした実行委員で行いました。

待ちに待った当日、東京駅から特急さざなみに乗って2時間、館山に到着しました。天気にも恵まれ、バスで海岸沿いを走り道の駅伊戸だいに着き、昼食に海の幸を堪能しました。そこには階段を下りるとすぐ磯遊びができる海があり、みんなが岩場に下りてのんびり過ごしました。何十年ぶりに海を見たという方もい



で楽しそうでした。その後は、南房
パラダイスで、動物と触れ合い、植
物園をゆっくり散策しました。宿泊
先は、平砂浦に面したいこいの村館
山で、到着するとまず、展望風呂で
ゆつくりと疲れを癒し、楽しみにし
ている夕食の時間になりました。宴
会場で新鮮な海の幸をいただきました
が、乾杯の後、カラオケが始まり
大いに盛り上がりました。夕食後は、
自由時間にしましたが、職員の部屋
を開放したところ数名が集まり、夜
遅くまで盛り上がり話はつきなかつ
たようです。

2日目は、館山ファミリパーク
で釣りやパターゴルフ、花摘みのグ
ループに分かれて行動しました。昼
食はにぎやかにバーベキューを楽し
みました。特大の渦巻きソーセージ
に驚きましたが、みんなきれいに平
らげたことにも驚きました。最後に
城山公園に立ち寄り、館山城を見学
しました。満腹ながら、日頃の清掃
作業やメール便配達で鍛えた足で、
頂上の天守閣に登り、眺めを楽しみ
ました。

あつという間の2日間でしたが、
天候にも恵まれ、全員が怪我もなく
無事に帰って来たことが何よりで
す。後日、アンケートを実施したと
ころ、食事が美味しかった、交流が
持てたという意見や、行く前にとて

も不安だったけれども楽しめたとい
う感想もありました。宿泊訓練を通
して、団体生活の訓練やメンバー同
士の交流ができ、日常の作業では得
られない、貴重な体験をたくさんし、
少し視野を広げるよい機会となりま
した。

スマイル社会復帰センター

松本 直子

コロニー東村山

惜しくも第三位 ティーパーボール大会

11月28日、日本ティーパーボール協会
主催の第11回健康福祉ティーパーボ
ル選手権、スマイルティーパーボール
大会が、杉並区上井草スポーツセンタ
ー野球場で開催されました。開会式
の挨拶で西東京市長より三年後？の多
摩地域を中心に予定されている国体
の公開競技に決定していることが紹
介されるなど、杉並区や西東京市等
の自治体の後押しもあり裾野が広
がってきているようです。

今年も、コロニーからは東村山と
青葉が参加して熱戦が繰り広げられ
ました。選手権部門は新型インフル
の影響で出場を取りやめるチームが



新人補強もでき、みんな楽しそう

出るなど、4チームのトーナメント
になりました。二勝すれば優勝です
が、それがなかなか難しい。一昨年
は優勝、昨年は準優勝と栄光の東村
山チームですが、今年の初戦は昨年
決勝で対戦し惜しくも敗れた杉並
ホープ松組。皆さんでリベンジを誓
い望みましたが残念ながら敗戦と
なりました(涙)。第二試合は第三
位をかけて青葉との身内の対戦にな
りましたが、2人のホームランバッ
ターを擁する青葉ライオンズに、わ
がチームは全員野球で対抗し、見事



先発指名打者（ランナーは代走）

三位を獲得しました。秋晴れのもと車いすの人も運動不足のメタボおじさんも、楽しく一日を過ごしました。けっこう楽しいよ！

星 忍

青葉ワークセンター

役に立ったSST (生活技能訓練)

トーコロ青葉ワークセンター・事業課では、精神障害を持つ利用者の皆さんを対象に、3年前からSSTを行っています。今までに43回実施してきました。参加は自由ですが、現在のメンバーは8名です。

SSTとは、ソーシャル・スキルズ・トレーニングのことで、日本では「生活技能訓練」と訳されています。

す。精神障害者は一般に対人関係が苦手であることに着目し、それを合理的に訓練していく治療的な技法として発展してきたものです。

肯定的な評価を受けながら練習することで、「自分でもできる」という自信を持てるようになり、繰り返し練習することで「実生活での実践が可能」となります。その結果、生活のしづらさが減少していきます。課題は参加者から提案してもらいます。

第41回では、一人暮らしをするため、寮が併設されている施設への入所が決まり、今回は最後の参加となる利用者の課題「新しい施設での挨拶（自己紹介）の仕方を教えて欲しい」を取り上げることにしました。

まずは、いつも自分が行っている自己紹介を行ってもらい（1回目のロールプレイ）、皆で良かったところを挙げ、更に良くするにはどうしたらよいかを提案します。そして皆の意見を取り入れて、再度、自己紹介を行ってもらいました（2回目のロールプレイ）。再び良かったところを挙げ、終了しました。

後日、その方から「新しい施設の交流会に参加した際、SSTで練習したように自己紹介が

きちんとできました。拍手もいっぱいもらいました。」と笑顔で報告がありました。SSTが役に立った場面を目の当たりにし、とても嬉しく感じました。

今後も更にメンバーが自信を持って社会に出ていけるよう、私たち職員も学び続けてまいります。

トーコロ青葉ワークセンター
事業課 澤地 かおる



ＩＴ事業部

事務所のレイアウトを 変更しました！

10月、11月の2回に分けて、休日に作業を行いました。掲載写真は10月の作業後の状態です。電話線や電気配線も自分達で配線しなおしたために電話が鳴らない、電話ランプが消えない、テーブルタップが足りない等、小さなトラブルが多々ありましたが、職員一丸となって解決しました。

レイアウト変更の目的は大きく分けて2つあります。1つ目は「職場環境の改善」です。約6年前に現在の事務所に引っ越してきてからほぼ同じレイアウトであり、不要となった物品がある雑然とした状態の中で業務を行って参りました。また職員の半数が通路側に背中を向けており、誰かが後ろを通っても気づかないことが多々ありました。これらを改善するため、まずは不要な物を思い切って廃棄しました。そして席の方向を変えることにより通路を通る方々や職員同士でお互いの顔を見やすくして、コミュニケーションの向上を図りました。

2つ目は「機密データの保護」で



す。IT事業本部では全体的に個人データを取り扱うことが多く、以前のレイアウトでは通路側の席の「パソコンの画面」や「机の上の書類」を誰でも簡単に閲覧できる状態でした。現在コロニー全体でPマーク取得に向けて動いていることを鑑みると、あまり良い状態ではないので、パーティションを設置して機密データを保護できるようにする予定です。

しかし、設置後は太陽光等が遮られて事務所全体が暗くなったり、席への出入り口が限定されてしまうことが懸念事項としてあがってきたので、それらを解消するために半透明

で、尚且つスライドドアがついているものを探し出しました。見た目としても開放感があり、職員も安心・集中して業務に取り組むことが出来るのではないかと「職場環境の改善」の効果も期待しております。

ただ、設置後は通路を通る方々とのコミュニケーションが減少してしまうとは思いますが、どうかご理解・ご協力くださいますようお願いいたします。そしてパーティションの中にいる我々と変わらず接していただき、お気軽にお呼び出してくださいませ。

システム開発課長 山本 豊

葛飾福祉工場

リスクアセスメント研修を 実施労災事故を予防する キーワード

「リスクアセスメント」、この言葉を聞いたことはありませんか？「リスク」…危険性、「アセスメント」…調査の実施、と訳せます。つまり、危険性の度合いを調査し、ひいては改善措置までということになるのでしょうか。

従業員の方が働きやすい環境を整

備することは、職場における最重要課題です。当工場においても、数は少ないものの、毎年軽微な労災が発生しています。軽微といっても、状況によっては、大きな災害に波及することもあり、危険の芽を摘むことが何よりも重要です。

国は、平成17年に労働安全衛生法等を改正し、「危険性及び有害性等の調査等の指針」、いわゆるリスクアセスメントの基本的考え方を示し、同18年4月以降は、その実施が努力義務となっています。

当工場では、班長・主任以上の従業員を対象に、12月21日(月)に立石工場、12月24日(木)には金町工場で、それぞれ午後1時から3時まで、初のリスクアセスメント研修を開催いたしました。職場での、リスクを一番知っているのは、日々働く従業員です。従業員自らが、リスクアセスメントに係ること、労災事故を未然に防ぎ、安全・安心な職場環境が保たれます。

今回の研修は、金町・立石工場の安全衛生委員会の主催で企画され、講師には、立石工場安全衛生委員会の労働安全衛生コンサルタントの服部富士雄氏をお招きしました。当日は、DVDやテキスト、具体的な事例を使用して、リスクアセスメントの定義とねらい、職場における危険

性や有害性の特定、リスクの見積もり、改善優先度の設定、リスク低減の措置、記録まで、広範囲にわたって指導いただきました。こうした一連の流れ(調査↓改善計画の策定↓計画の実施↓評価)を「リスクマネジメント」といいます。

受講者からは、「普段なにげなく反復している作業も、リスクを知っているのと知らないのでは大きく異なりますね。」「最近では、働く人の就業形態や業務の内容など、日々変化しています。災害も特殊化し、こんなことが起きるのかという事例



リスクアセスメント研修のグループ討議の様子。
写真向かって左側、手前から三人目が服部講師、その右隣が加藤産業医。

も報道されていますので参考になりました。」との声が寄せられました。労災は働いている人の生活に打撃を与え、事業所にとっても必要な人材が一時期不在ということが起こります。今後は、今回の研修を絵に描いた餅にしないように、実施に向けての体制整備やその時期などを、所内で検討してまいりたいと思います。

副所長 君島 久康

大田福祉工場

CTP機の導入

去る10月24日、大田工場に待望のサーマルプレートセッター（CTP）が、導入されました。

本機は、富士フイルムの Luxel PLATESETTER T-9500CTP HS。

一時間に20版ほど出力でき、高品質な仕上がりを持っています。刷版サイズは、最大1160×940ミリから最小450×370ミリまで幅広く出力できます。

また、PS版現像プロセッサも環境対応型になり、補充液・廃液の量も大幅に少なくなっています。

同時にRIP処理もアップグレー



ドされて、出力データのPSからPDF運用への移行に対応しています。

今回のCTP機の導入によって、印刷稼働率アップ、フィルムレスによる工程の短縮、版面作成の時間短縮等の生産性向上と、CTPでの仕上がり品質の向上や正確な網点による再現性向上と、印刷品質の安定化が期待できます。

一週間の試用期間を経て、実務作業に運用していますが、既存のフィルムセッター出力に対し9対1以上の割合と大きく変化しています。年度末の繁忙期には、大きな力となるでしょう。

編集製版係 班長 長縄 英男

福祉事業本部

「コロニー祭」に参加して

10月17日土曜日、コロニー中野において、第14回コロニー祭りが行われました。福祉事業本部として初めて参加し、生活支援事業の紹介をしながら中古CDを販売しました。

あいにく快晴とはいきませんでした。雨が降られることもなく、盛大に無事終わることができました。

出店は、産地直送青森りんごやジュース、東村山の農家の方の新鮮野菜の販売、焼き鳥、磯辺焼きにゲームや駄菓子と様々で、ころころでは特製ハンバーガー、ホットドッグ、カレー、とん汁などが販売され、売り切れてしまう店があるほど大変好評でした。

またジャグラーの方や、アコースティックグループの方々にも来ていただき、祭りを大いに盛り上げていただきました。

来場者はコロニーの利用者さん、ご家族、従業員以外に、地域にお住まいの方々にも多くお越しいただき、皆さん笑顔で催し物や食事を楽しんでいました。

中には「ずっと前からコロニーのお祭りが楽しみで仕方がなかった。」

と話していた方もいらっしゃり、当日お見かけした時には、笑顔で焼き鳥やビールなどを味わっていて、近所からいらした小さい子供のお客さん達も出店のゲームにお小遣いを握りしめて挑戦し、とても楽しんでいました。

自分も中古CD販売をしていましたが、多くの方と一緒に祭りを楽しむことができ、充実した一日を過ごすことができました。

運営委員会の方々や祭りに協力して頂いた方々に感謝しつつ、また来年も参加したいと思う祭りの1日でした。

えはらハイツ担当 井上 徹



法人の主な動きから

評議員の交替について

評議員の交替がありましたので、ご報告させていただきます。(敬称略)

● 退任

評議員 佐々木洋文

(ご本人の申し出)

退任日 8月7日

● 新任

評議員 飯屋 暢聡

医療法人理事長

(任期21年8月26日)

22年11月27日

チャンピオンズオブ デジタルリテラシー という賞をいただいて

IT事業本部 職能開発室

堀込 真理子

2009年8月初旬、アメリカのサーチポート社が行う「PATHWAYS 2009」という会議にて、掲題の表彰にあずかりました(場

所…ヒルトン・トロント)。

この会議は、一言でいえば、この会社がワールドワイドで行っている資格試験を更に推進するために、尽力しているパソコンスクールを世界中から招待し称えるものです。しかしそれだけにとどまらず、IT技術やライセン取得が社会に対してできることを追及し、教育や経済活動の中でIT利用の格差縮小の支援をしている人などに対して3年前からこの表彰を行うようになりました。偶然にも、2008年、東京コロ

ニーが運営する東京都障害者IT地域支援センターを訪ねてくださったオデッセイコミュニケーションズ様(注)が、センターで障害のある方の資格試験の支援やIT基礎教育を行っているのを知りノミネートしてくださったことが今回の幸運につながりました。上記の表彰者を含め、世界35カ国・地域の約200名を超す参加者は全てが招待。ライセン取得の意味や正当性を掲げて大会を



受賞5名。右から2番目が筆者

盛り上げ称えあうことは、次の取得者獲得のみならず、格差縮小という目標にも少なからずスポットをあてていくことでしょう。

活動にご理解をいただきこの栄誉を与えて下さったオデッセイコミュニケーションズ様はもちろん、IT利用で社会参加という東京コロニーの思いを支え続けて下さった全ての方に感謝をし、またここから一歩ずつ着実に歩き出したいと思い

ます。

(注1) 東京都障害者IT地域

支援センター

<http://www.tokyo-itcenter.com/index.html>

IT資格試験の障害者特別措置情報の提供や、選択型ITレッスン「サポーターズカフェ」など新しい試みを日々取り入れていきます。ぜひ一度お越下さい。

(注1) 株式会社オデッセイ

「ミニユニケーションズ

<http://www.odyssey.com.co.jp/index.html>

サーチポート社と提携し日本でコンピュータを使った資格試験の実施・運営を行う

東村山市障害者

就労支援室の開所

国は障害者の就労支援に関する今後の施策の方向性として、障害者基本計画(平成14年12月24日閣議決定)に基づき、障害者も住みなれた地域で自立した生活を送ることができるよう支援していくことは、極めて重

要な政策課題であり、この障害者の地域生活を支える重要な柱の一つが「就労支援」である事を明確にしました。さらに、経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004(骨太方針2004)においても「障害者の雇用・就労、自立を支援するため、在宅就労や地域における就労の支援、精神障害者の雇用促進、地域生活支援のためのハード・ソフトを含めた基盤整備等の施策について法的整備を含め充実強化を図る」としています。

東村山市においても、国や東京都の基本指針に基づき、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営み、地域で安心して暮らすことができるよう「東村山市障害福祉計画」を策定しており、就労問題については、障害者就労支援事業を実施するために平成19年度より「東村山市障害者就労支援連絡会」、「東村山市障害者福祉計画推進部会」等において検討を継続してきました。そして、いよいよ今年9月に、市のホームページをつうじて東村山市就労支援事業(支援室)として一般公募がありました。

当事業所では、その募集を積極的

所が受託することが決定しました。

これまで当施設が実施してきた就労支援ノウハウならびに就労移行支援事業における実績が評価されたのだと思います。決定後1ヶ月足らずの準備ではありましたが、11月18日に無事に開所することができました。社会経済の不況が続く中、雇

率の回復も見えてこない就労環境ではありますが、相談者ひとり一人の可能性を信じ、お手伝いをしていきたいと思っています。また地域には、作業所や支援事業者など多くの仲間達がいまですので、皆様のご指導やご協力を得て、ひとりでも多くの方の目標を実現していきたいと思

います。
東村山市障害者就労支援室をどうぞよろしく
お願いいたします。

コロニー東村山 所長
中村 敏彦

「第21回アートビリティ大賞式典」が開催されました

2009年11月13日(金)に、「第21回アートビリティ大賞式典」が開催され、アートビリティ大賞、アサ



ヒビール奨励賞、日立キャピタル特別賞の各賞受賞作家の表彰式がおこなわれました。日頃より、アートビリティにご理解・ご協力をいただいている協賛・協力企業の皆様や、ユーザー様、そして全国で活躍をするアートビリティの登録作家の方々、多くの方にご参加をいただき、盛況のうちに無事、終了することができました。

また、表彰式後の懇親会では、日頃、会うことのないユーザー様と作家の交流を深めるまたとない機会となり、こちらも大好評を博しました。

アートビリティの活動と作品のクオリティを知っていただくことを目的に、「アートビリティ大賞」の表彰をおこなって20年以上の時間が経過しましたが、着実に、そして確実に、応援してくださるファンの方々が増えていくのを実感します。

これからも、アートビリティは、ユーザーと作家をつなぐ架け橋であるよう、努力してまいります。

各賞を受賞された作家の皆様をご紹介します。

アートビリティ大賞

飯田 弘道

(いいだ ひろみち)さん

アサヒビール奨励賞

古谷 邦博

(こたに くにひろ)さん

日立キャピタル特別賞

大志田 洋子

(おおしだ ようこ)さん

受賞作家のすばらしい作品の数々は、銀座・柴山画廊で開催された「アートビリティ作家展(11月11日～16日)」で展示され、6日間で延べ100人以上の方々のご来場をいただき、こちらも大好評を博しました。

アートビリティ事務局

岡嶋 明美

中野区日中一時

支援事業を受託

—お気軽にどうぞ—

ご利用下さい—

福祉事業本部長
加藤 留美子

えはらハイツ2階(中野区江原町3-23-2)で行っております短期入所事業(定員2名)は、少しずつご利用も増え毎月のように利用して

下さるリピーターの方、またご家族の急な病気などによる緊急の方にもご利用いただいています。この度、空いている部屋、時間帯を利用しての日中一時支援事業を中野区より受託いたしました。

ご家族などの介護者が病気等により障害のある方(児童も含みます)の介護ができない時、また、介護者が一時的な休養を必要とする時、一人暮らしの障害のある方が一時的な病気等により日常生活が困難になった時に、日中、短期入所の方で見守りや食事提供等の支援を行います。9時～19時の範囲で、1日1回10時間以内で利用可能です。(月5回まで。ご利用は1時間単位です。)

たとえば、こんな時に利用されてみてはいかがでしょう？

◇日々の介護が心身共に大変と感じていらっしゃるご家族、少しの時間でもご自分のゆつたりとした時間をもつ

てみてはいかがでしょう？

◇通所先から夕方帰ってくる息子さんや娘さんを迎えるために、夕方から夜にかけて出かけることができないというご家族、日中活動終了後の2～3時間のご利用も可能です。

◇将来はグループホームに入りたいけれど、まだ泊りは自信が無いというご本人、ご自宅と違う場で過ごしてみる練習から始めてみてはいかがでしょう？

ご利用の予約は前月の初日からとなっております。お気軽にお問い合わせください。

- *利用対象は中野区在住の方に限ります。また、区での受給手続きが必要です。
- *エレベータの設置がありませんので、車いす利用の方はご利用になれません。
- *利用者負担額は3回目まで無料です。(4回目以降は中野区が定める利用者負担額が発生する場合があります。)また、利用に際しての実費は以下のとおりです。
- ・食事代 朝300円 昼500円 夕500円
- ・水道光熱費 1日50円(5時間未満)、100円(5時間以上)
- ・その他 実費

中野区役所の問い合わせ先

中野区障害福祉分野障害施設担当(区役所1階)
Tel 3228-8066

ご利用に際しての当事業所の申込み・問い合わせ先

(社)東京コロニー 福祉事業本部
Tel 5988-7619

2009年度 上半期総括事業報告書

1. はじめに

わが国の経済は、米国発のサブプライムローン問題を発端とする世界同時株安や円高など金融恐慌の後遺症を残しており、さらには原油・特殊鋼材等や穀物相場の高騰等、实体经济に対する影響について顕在化しており、実態面においても消費の落ち込みや企業倒産、有期限雇用者の解雇などの深刻化が固定化するようになっていきます。また、福祉施策は障害者自立支援法や年金問題・後期高齢者医療制度・医療崩壊問題など国民にとって不安要素が多いのが現状です。このことに加え税収の落ち込み対策として聖域なき徴税施策が実施されつつあります。

障害者福祉施策においては、2006年4月に「障害者自立支援法」が施行され、利用者に対する定率負担と実費負担を求める一方で、事業者には市場原理・成果主義にもとづく政策の負の部分が目立つもの

となっており、特に障害者自立支援法に対する批判を受けて施行初年度の補正予算において1200億円にのぼる特別対策を実施するとともに、2008年度予算でも7月よりさらなる激減緩和策を実施するに至っており、2009年度においても負担軽減策等の予算措置がなされています。また東京都は、前述の国の動きなども視野に、2006年2月に「福祉・健康都市東京ビジョン」を示し、国に先がけて「施設偏重から地域へ」や「公立・社会福祉法人中心の供給体制の改革」の推進を図る方針で施策を進めつつあり、当法人の事業にも福祉工場の民間化の提起がなされているなど一定の影響が及びつつあり、このような中で本年度上半期事業でした。

2. 法人としての制度への対応

2006年10月に生活支援事業と社会事業授産施設が新体系に移行

し、2007年4月には精神障害者授産施設であるトーコロ青葉第三ワークセンターを除く7施設が3事業（多機能）に移行および制度変更し、各事業の目的に添った運営を行うとともに2008年4月からは中野区からの受託事業として精神障害者通所授産施設である中野区精神障害者社会復帰センターの運営や2009年2月からは江原寮の運営を開始しましたが、中野区受託施設については来年には新体系に移行することを前提に準備を進めています。また、2つの福祉工場については、東京都との新たな方向に向けた協議を2年前において進めましたが結論が得られないまま本年度上半期においては葛飾工場の倉庫取得問題や大田工場の浜松町工場の仮移転問題の解決を得て今日に至っています。障害者自立支援法の廃止が本年8月の総選挙の結果、政権交代がなされたことで新政府より明示されま

したが、現状では現行法の方角性に添った対策を講じつつも、下半期に向けては現行法の問題点の改善に取り組み、真に障害者の地域生活における自立が実現できるように利用者の意向を尊重した運営を進めました。

3. 法人全体の事業概要

法人全体の人員は、前年度から増員傾向にありますが、本年度上半期末についても、前年度末に比べ19名（内障害のある人10名）の増となり、662名（内障害のある人324人）で、この内常用労働者は104人、総員に占める障害者比率は56.49%でした。

2009年度上半期の法人全体の経営結果については、総収入36億円を超える規模であり、法人トータルとしては予算額を上回るものでしたが葛飾工場の倉庫取得にかかわる差入保証金の処理等での費用が発生し

たため、法人全体での上半期利益は4,936千円となり、前年度上半期に比べ△83,307千円の悪化でしたが、決算見込みではわが国経済の先行き不安や税務調査による税務関係費用などもあり、樂觀は許されないものの赤字とならない努力が求められる状況にあります。事業別では法人立事業では前年並みの損益計上は難しく、下半期に向けた資金繰りなどは改善には不安定要素も残されており、法人立事業としての財政基盤の確立が引き続き努力すべき状況にあります。なお、葛飾工場の倉庫取得のために積立金としていた6億円については8月26日開催の第221回理事会において取崩しを決議しましたが、会計処理は本決算において行うこととしました。

また、本年度上半期の苦情申出はありません。

4. 各事業の状況について

法人の主たる事業目的である就労支援において、2つの福祉工場においては引き続き、障害のある従業員の雇用を目的に事業を推進し、社会就労事業本部においては、新体系における就労移行、就労継続（A・B型）事業および精神障害者通所授産

施設の運営を行いました。就労移行事業においては一般企業等での雇用をめざした支援のためのプログラムの実施を始め、上半期だけで5名の一般企業等への就職を実現させました。また、支給した工賃は利用者一人平均で最低賃金の3分の1以上（国の工賃増計画の水準）を超える額でしたが、前年度より障害の重度化対策等を視野に青葉ワークセンターを主に利用者のQOL向上事業の取組みを深化させましたが、この取組みについては中野区精神障害者社会復帰センターにおいても活かされることになりました。こうした取り組みは就労継続B型事業のメニューの拡大・発展の方向性をもって今後ともQOL向上をめざすさまざまなプログラムの導入を積極的に行う予定であり、前年度に引き続き今年度においても利用者やご家族からは高い評価を得ています。

公的援助等の減額の中でも、当法人の目的とするサービス水準を自らの経済活動によって維持・発展させなければなりません。当法人の基幹事業であった印刷業（コロナー東村山、および大田福祉工場）は本年度上半期ではやや厳しさの兆しが見える経営結果でした。この事業状況を

改善するために印刷本来の事業の強化・見直しとともに、授産事業においては印刷だけに頼らない新たな事業・職域等の拡大に努めると共に経営体質の改善、経費等の節減については民間事業者の視点で取組む必要があり、一段と厳しい姿勢が求められています。

なお、コロナー中野および中野区精神障害者社会復帰センターの事業においては、新たな職種開拓や事業計画・予算に定める受注確保に向けた取組を行う必要があります。

情報処理事業（IT事業本部）は、入力部門で確実な加工高を得る一方、ネット化社会や障害者雇用の社会的変化に 대응することにより、国による在宅就業者支援団体の指定を受けていることや東京都からの受託事業である東京都障害者IT地域支援センター事業の充実、さらには在宅講習事業や有料職業紹介事業など先進的な事業に引き続き取り組んだものの決算見込みにおいては過年度の消費税の追徴が見込まれることから損益的には赤字にならない努力が求められています。

縫製・製袋・防災・安全用品等製造販売事業（葛飾福祉工場）はトータルとしては黒字基調で推移してい

ますが、防災部門の受注が前年より増加し、縫製・製袋部門も含めた受注拡大に努めたものの倉庫取得にかかわる差入保証金の処理等により前年よりも剰余金は下回るものとなりました。

メールサービス事業等（青葉ワークセンター）は、法人内における連携や新たなプログラムメニューの導入等により本年度上半期は事業的な改善にも取組みましたが、授産事業面での赤字の減少等、実効性が見えるものになってきています。

生活支援事業は、グループホーム・ケアホーム事業の安定的な運営と新たな寮の開設に取り組み、中野区内に3つの事業を開設した状況で、事業的には堅調なものでした。

居宅介護事業については、引き続き経営改善及び管理体制の強化をめざし事業推進を図りました。

5. その他

以上の事業の他、障害施策の改革に対応するための関係機関への取り組みとともに、本年度も東京都社会福祉協議会、日本障害者協議会、社団法人ゼンコロ等各種関係団体における当法人としての役割を果たしました。

総括決算損益推移表

(単位：千円)

		2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度
1. 法人本部	中間決算	17,231	16,800	16,992	-11,315
	決 算	37,931	36,153	31,110	*5,000
	損益累計	170,436	206,589	237,699	*242,699
2. 福祉事業本部 (グループホームケアホーム・ トーコロ支援生活センター)	中間決算	1,306	8,526	3,259	26,133
	決 算	4,400	13,874	-292	*31,434
	損益累計	16,163	30,036	29,744	*61,178
3. IT事業本部	中間決算	14,546	7,964	6,859	3,349
	決 算	16,821	9,919	10,945	*23
	損益累計	112,397	121,826	132,771	*132,794
(1) トーコロ情報処理センター事業部	中間決算	2,663	1,687	1,636	-605
	決 算	10,814	5,024	10,073	*476
	損益累計	77,973	82,997	93,070	*93,546
(2) 職能開発室 (含事務局・ITサポートセンター)	中間決算	8,139	6,995	4,111	3,182
	決 算	1,622	796	306	*-2,920
	損益累計	9,057	9,363	9,669	*6,749
(3) デジタルメディアセンター	中間決算	3,774	-718	1,112	772
	決 算	4,385	4,099	566	*2,467
	損益累計	25,367	29,466	30,032	*32,499
4. 社会就労事業本部	中間決算	-45,682	-43,348	-20,182	-19,937
	決 算	8,963	-12,418	7,765	*7,537
	損益累計	-439,055	-451,472	-443,707	*-436,170
(1) コロニー中野	中間決算	-23,592	-27,380	-20,292	-8,734
	決 算	877	-3,847	425	*0
	損益累計	-344,037	-347,884	-347,459	*-347,459
(2) 中野区精神障害者復帰センター	中間決算			13	360
	決 算			0	*0
	損益累計			0	*0
(3) コロニー東村山(含アートビリティ)	中間決算	-23,622	-25,649	-5,169	-17,600
	決 算	749	-14,340	1,408	*0
	損益累計	-139,515	-153,855	-152,447	*-152,447
(3) トーコロ青葉ワークセンター	中間決算	1,532	9,681	5,266	6,037
	決 算	7,337	5,769	5,932	*7,537
	損益累計	44,497	50,267	56,199	*63,736
5. 福祉工場事業本部	中間決算	37,710	-10,012	81,315	6,706
	決 算	144,812	74,467	180,579	*63,002
	損益累計	2,170,854	2,245,322	2,425,901	*3,088,903
(1) 葛飾福祉工場	中間決算	48,011	10,262	78,544	13,682
	決 算	143,682	67,221	171,150	*60,602
	損益累計	2,478,402	2,545,624	2,716,774	*3,377,376
(2) 大田福祉工場	中間決算	-10,301	-20,274	2,771	-6,976
	決 算	1,130	7,246	9,429	*2,400
	損益累計	-307,548	-300,302	-290,873	*-288,473
合 計	中間決算	25,111	-20,070	88,243	4,936
	決 算	212,927	121,995	230,107	*106,996
	損益累計	2,030,795	2,152,301	2,382,408	*3,089,404

* 見込額

(注) 葛飾工場の決算見込には別途積立金 600,000 取崩を含む

在籍者の推移

自 2009 年 4 月 1 日 至 2009 年 9 月 30 日

(単位：人)

		前年度末 在籍者数	期中増減				主な減員理由		年度末 在籍者数
			増員		減員		自己都合	疾病、その他	
	雇用就労者	101 (9)	5 (0)	(0)	2 (0)	(0)	2 (0)	0 (0)	104 (9)
	事業・施設の利用者	221	23	(0)	14	(0)	9	5	230
	その他	42	5	(0)	7	(0)	0	7	40
	障害がある就労者等（計）	364 (9)	33 (0)	(0)	23 (0)	(0)	11 (0)	12 (0)	374 (9)
障害がない就労者		279	11	(1)	2	(1)	1	0	288
合 計		643 (9)	44 (0)	(1) (0)	25 (0)	(1) (0)	12 (0)	12 (0)	662 (9)

(注) 1) A型利用者については、障害がある雇用就労者に含めた上で下段の () で再掲しています。

2) 年度末在籍者数には非常勤嘱託医を含んでいます。

3) 年度末在籍者数にはグループホーム・ケアホーム利用者を含んでいます。

4) 増員および減員の各右欄には法人内異動を () で表記しています。

アートビリティ Artbility ギャラリー 23

『初恋通り』 古谷 邦博 さん



今回の作品は、「第21回アートビリティ大賞」において、アサヒビール奨励賞を受賞された、古谷邦博さんの「初恋通り」をご紹介します。

アサヒビール奨励賞は、新進気鋭の才能あふれる作家に贈られる賞で、古谷さんはまさにこれからのアートビリティを担う、期待の大型新人です。

古谷さんの作品は、CG（コンピューターグラフィック）で描かれています。

障害のある方たちにとって、パソコンの恩恵は計り知れないものがあります。生活や仕事、生きがいに至るまで、さまざまな可能性を広げてくれました。そして、CGも、障害のある方たちに、絵を描く楽しさや喜びを体験させてくれます。

絵の具を出したり、筆を洗ったり、紙やキャンバスを用意したりと、絵を描く上で欠かすことのできないこれらのことも、障害によっては一苦労だったりします。ですが、CGはパソコンさえあれば、自分の思いを形にし、絵として表現することができます。そういう豊かな時間を、重い障害を抱えた方でも持つことができる、すばらしいツールです。

けれども、逆にアートビリティでは、作品が登録されにくいという超難関部門でもあるのです。なぜなら、今ではソフトも進化を遂げ、誰でもそれなりのクオリティを持った作品を仕上げることのできるCGは、それ故に、個性を出すことがより難しくなってくるからです。

古谷さんは、お姉さんの影響で、CGで絵を描くようになりました。最初は、「パソコンでも絵を描けるんだ!」という、驚きと興味から始められたそうで、描いていくうちに少しずつ、自分の世界観を確立していきました。

スケールの大きな世界や、ロマンチックで夢のある世界など、古谷さんの作品には独特のふんいきとリズムがあります。CGという技法を使って、確立した自分なりの世界観を表現し、オリジナリティにあふれています。なんと、ほとんどの作品が、自分の好きな音楽からインスピレーションを得て描かれているのだとか。そのあたりの若く瑞々しい感性も古谷さんの魅力です。

大賞受賞式でお会いしたご本人も、誠実でまっすぐなお人柄がしのばれる、好青年でした。

これからも魅力ある作品をたくさん、生みだしていただきたいと思います。

アートビリティ事務局 岡嶋 明美

■アートビリティ…1986年障害者アートバンクとして設立。「才能に障害はない。アートの分野において、障害者の才能は健常者とかわらない」を基本姿勢に活動を続けています。現在は、登録作家約200名、登録作品数約3,500点、年間使用作品数は400点を超えます。2002年4月、アートビリティと改称。

ご協力の お願い

社会福祉法人東京コロニーでは、障害のある方への支援を就労や教育、生活の面から数多くの事業を行なっています。めざすことは、それらによる障害者の大きな意味での自立支援です。

私共の事業を応援して下さる方（あるいは団体）からのご協力を、下記を窓口にて常時受け付けております。ご寄附の場合は、主に新しい事業の立ち上げや先進的な取組みを行うための財源に充当させていただきます。より多くの方へのより質の高いサービスをめざす当法人の事業に対し、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

（社会福祉法人への寄附は、税金が一部免除になります。ご寄附をいただいた際はそのための領収書を発行させていただきます。）

ご寄附受付 社会福祉法人東京コロニー 法人本部事務局（担当 伊知地）
〒165-0023 東京都中野区江原町 2-6-7 tel03-3952-6166 fax03-3952-6664

東京コロニーの ホームページ



東京コロニー メインページ
<http://www.tocolo.or.jp/>



コロニー印刷
<http://www.colony.gr.jp/>



デジタル メディアセンター
<http://www.tocolo.or.jp/dmc/>



アートビリティ
<http://www.artbility.com/index.html>



東京都大田福祉工場
<http://www.tocolo.or.jp/oota/>



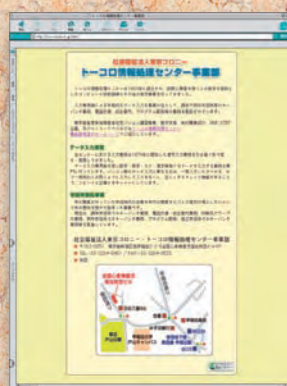
トーコロ情報処理センター職能開発室
<http://www.tocolo.or.jp/syokunou/>



トーコロ青葉ワークセンター
<http://www.tocolo.or.jp/aoba/>



東京都葛飾福祉工場
<http://www.fireman21.net/>



トーコロ情報処理センター事業部
<http://www.tocolo.or.jp/joho/>



トーコロ生活支援センター
<http://www.tocolo.or.jp/seikatu/index.html>



グループホーム / ケアホーム
<http://www.tocolo.or.jp/grouphome/index.html>